

2018年2月21日

大塚製薬 昨年に引き続き 「健康経営優良法人2018～ホワイト500～」に認定



- 大塚製薬は、2年連続で社員の健康への多様な取組みが評価され「健康経営優良法人 2018～ホワイト500～」に認定
- 健康経営優良法人制度は、優良な健康経営を実践している法人を、経済産業省と日本健康会議が共同で認定する制度
- 人々の健康への貢献を目指す当社は、まずは社員一人ひとりの健康が大切だと考え、30歳以上の社員の人間ドック受診無料化、事業での知見を活かした社員や家族向けの健康セミナーの開催など、社員の健康維持・増進を推進する多様な取組みを実施

大塚製薬株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:樋口達夫、以下「大塚製薬」)は、このたび経済産業省と日本健康会議*1が共同で選ぶ「健康経営優良法人2018～ホワイト500～」に昨年に引き続き認定されました。

健康経営優良法人認定制度とは、特に優良な健康経営*2を実践している大企業や中小企業などの法人を顕彰表彰する制度であり、2017年に開始されました。本年は大規模法人として541社が選ばれています。

大塚製薬は、革新的な製品の創造や展開を通じ、人々の健康へ貢献することを目指しています。そのためには、当社の社員一人ひとりが健康に生き生きと働けることが大切だと考え、①社員自らの健康管理の促進、②社員の健康の維持・増進の促進、③働きやすい職場環境整備の観点で施策に取り組んでいます。具体的には、30歳以上の社員の人間ドック受診無料化、オーダーメイド型の運動プログラムや食事指導を受けられる「大塚ウェルネスプログラム」*3の提供、社員やその家族向けの健康セミナー開催などを実施しています。さらに、2017年1月には社員の健康促進に向けた活動をより一層推進するため、経営者自ら「大塚製薬健康宣言」を行いました。

大塚グループでは、この度の大塚製薬のほか、大塚製薬工場、大鵬薬品工業が「健康経営優良法人 2018～ホワイト500～」の認定を受けています。

大塚製薬は、今後もOtsuka-people creating new products for better health worldwideの企業理念のもと、社員を含めた人々の健康への貢献を目指してまいります。

*1: 少子高齢化が急速に進展する日本において、国民一人ひとりの健康寿命延伸と適正な医療について、民間組織が連携し行政の全面的な支援のもと実効的な活動を行うために組織された活動体。日本健康会議HP: <http://kenkokaigi.jp/>

*2: 「健康経営」は健康経営研究会の登録商標です。

*3: 人間ドックの血糖・脂質・血圧の数値で2項目以上が特定保健指導対象数値の社員のうち希望者が受講できる。

参考資料:

【大塚製薬健康宣言】

Otsuka-people creating new products for better health worldwide
 (世界の人々の健康に貢献する革新的な製品を創造する)

この企業理念の実現には社員一人ひとりの心身の健康が不可欠であるとの認識のもと、経営者として大塚製薬社員およびその家族の健康の維持・増進のための職場環境の整備に努めることを宣言します。

2017年1月

大塚製薬株式会社 代表取締役社長
 樋口達夫

【主な取組み】

	活動	内容
自己健康管理促進	人間ドック受診助成	30歳以上は一定期間受診を無料として社員に受診を推進。30歳未満でも婦人科検診等のオプションは追加を無料としている
	その他検診等の助成	ピロリ菌検査やインフルエンザワクチン接種の助成を実施
	無料健康相談	24時間健康やこころの悩みに関する電話相談が可能な電話健康相談のサービスを提供
	大塚ウェルネスプログラム	人間ドックで血糖・脂質・血圧の数値において、2項目以上が特定保健指導対象数値の社員のうち希望者に、オーダーメイド型の運動プログラムや食事指導もある「大塚ウェルネスプログラム」を提供
健康維持・増進	健康セミナー開催	当社製品の研究開発で得られた知見を活かし、社員やその家族向けに健康セミナーを開催
	ポカリフレッシュ	一部オフィスや工場でインストラクターの指導のもと、毎週内容が異なる8分間の体操(ポカリフレッシュ)を週に1回実施 
	社員食堂での食事の見える化と低カロリー食の提供	直営で運営する食堂があり、社員である管理栄養士が健康を気遣うメニューを考案しているほか、2008年から毎日のメニューにカロリーや栄養成分も表示し、自分の食事見える化。また、より健康に気づかったヘルシーメニューも提供
	禁煙の促進	社内全面禁煙に取り組む(社内喫煙率 2012~2016年で1.8%減少)
	健康プロジェクト	最も社員の多い徳島エリアにおいて 2017年よりメタボリックシンドローム予備軍への改善アプローチとエリア全体の健康意識向上を目的としたエリアアプローチを開始し、ウォーキングや運動の推奨、食事指導等を実施
	ウォーキング大会の開催	一部の工場では定期的に地域の方々も参加できるウォーキング大会を開催。地域交流にも役立っている
	労働災害ゼロへの取組み	労働災害防止を目的に、動画を用いてロコモティブシンドローム予防のための運動を工場ごとに実施している
職場環境整備	長時間労働の是正 上司が部下の業務時間を適切に管理できるよう、残業は事前申告制となっているほか、一部の事業所ではNo残業デーの設定やWork Life Balance Day(自分のために「何か」をするため、早く帰る日を自らが決める)を設定し、メリハリのある働き方を推進	